

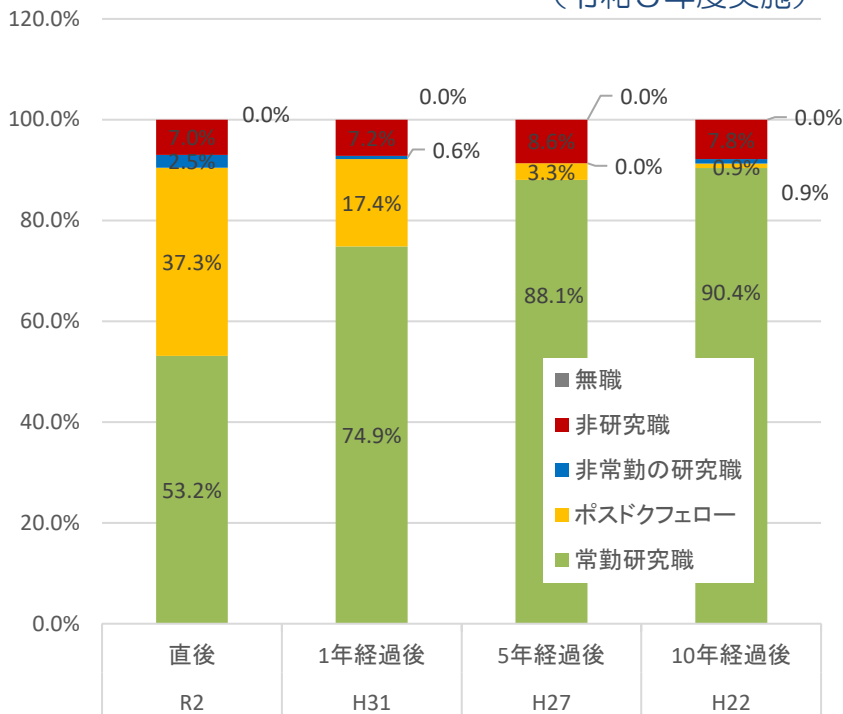


海外特別研究員の就職状況等に関する追跡調査結果について

(令和5年度実施)

海外特別研究員の
「常勤研究職」への就職状況直後
(令和2年度採用者) : 53.2%1年経過後
(平成31年度採用者) : 74.9%5年経過後
(平成27年度採用者) : 88.1%10年経過後
(平成22年度採用者) : 90.4%

※割合は、不明者等を除いて算出



《調査結果より》

海外特別研究員は、5年経過後調査では88.1%、10年経過後も90.4%が「常勤の研究職」に就いており、我が国の研究者の養成・確保において重要な役割を果たしている。

海外特別研究員事業とは

我が国における学術の将来を担う国際的視野に富む有能な研究者を養成・確保するため、優れた若手研究者が海外の特定の大学等研究機関において長期間研究に専念できるよう支援する事業です。＜申請者・採用者数及び採用率の推移（平成24～令和6年度）＞

